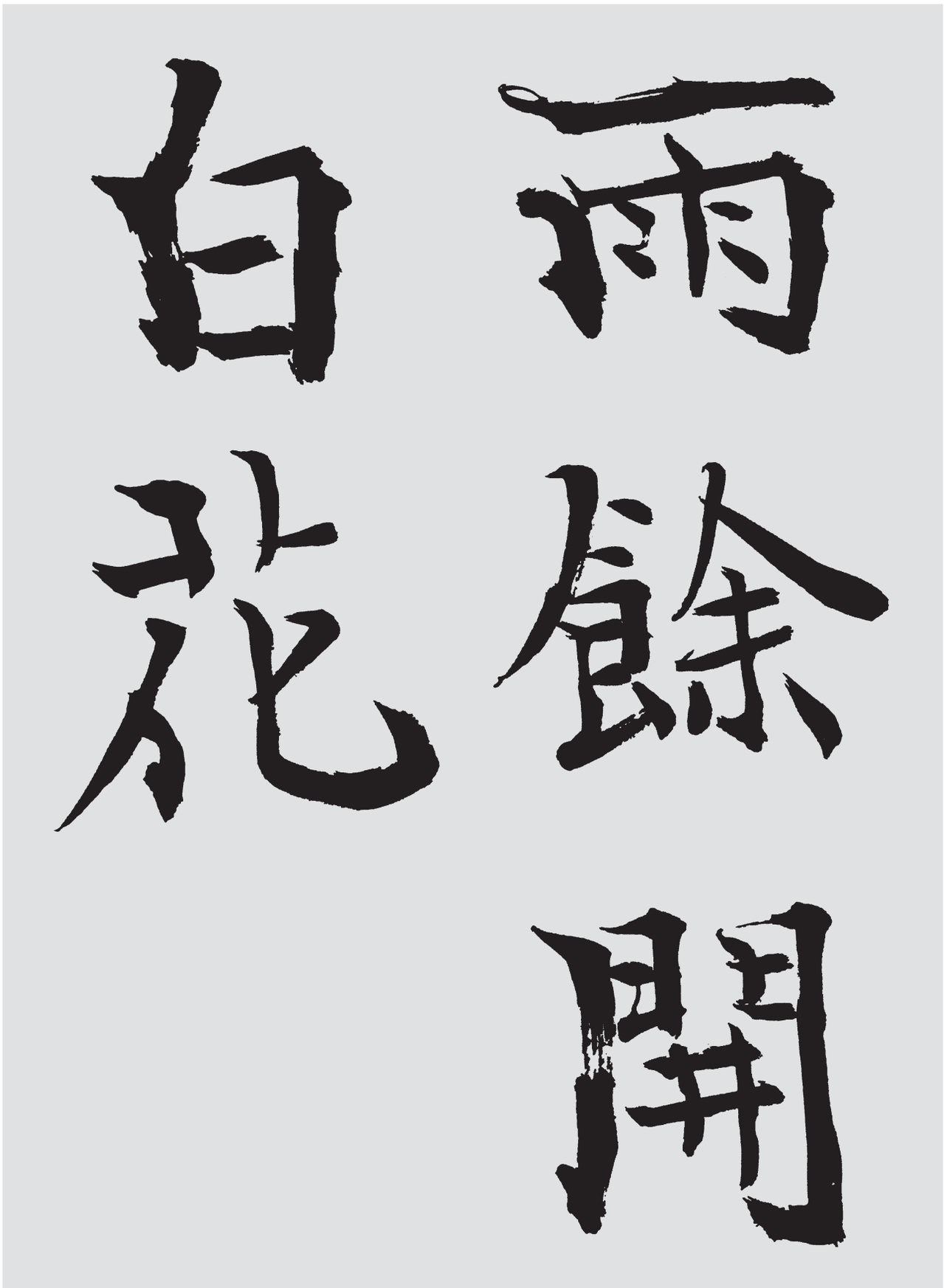
# 参　考　手　本

雨餘白花開く




成瀬映山先生

※これは規定課題ではありません。

# 参　考　手　本

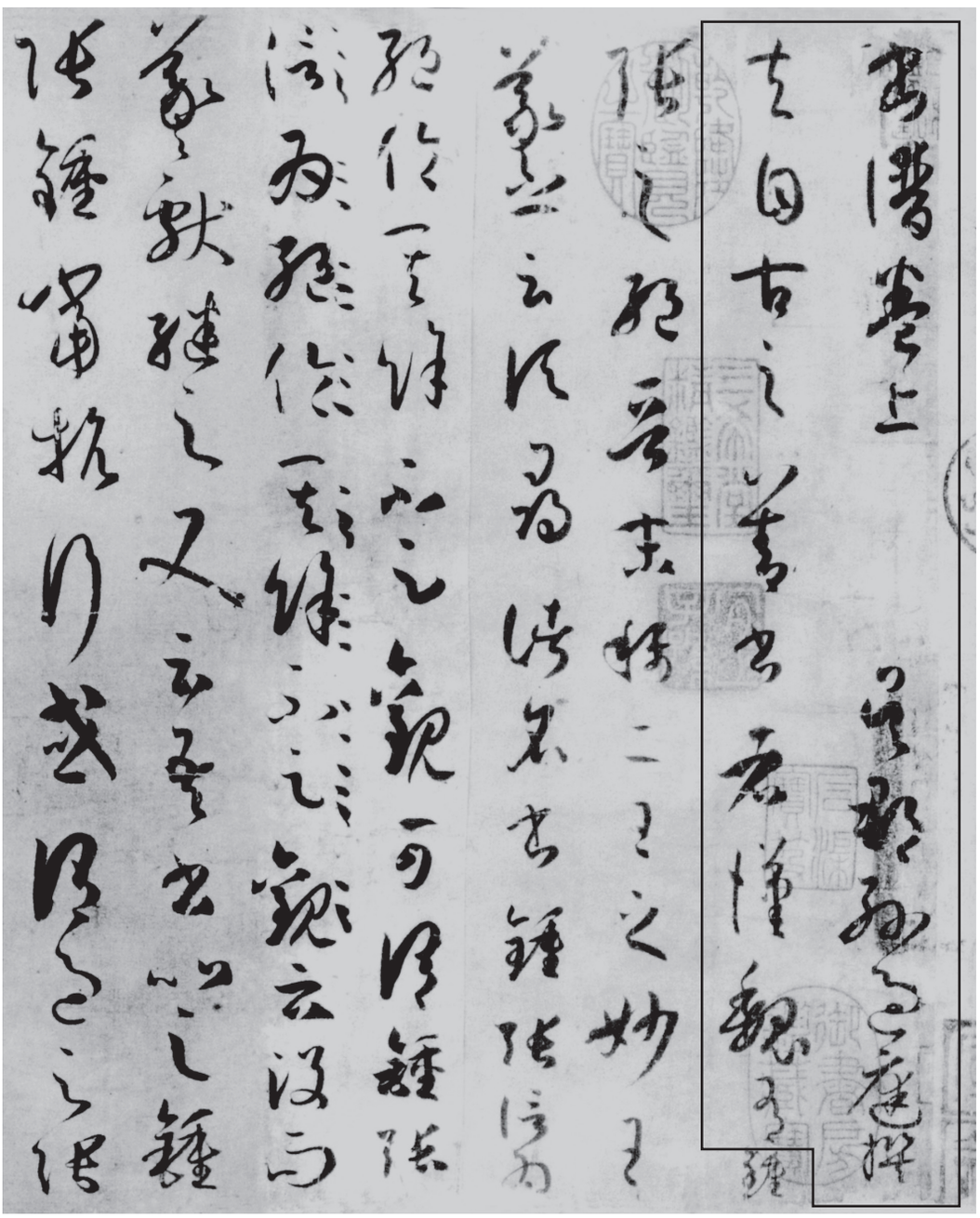
※これは規定課題ではありません。

高木聖雨先生

# 条幅規定

A部（準五段以上）

『書譜』① 孫過庭



書譜卷上　吳郡孫過庭撰。
夫自古之善書者。漢魏有鍾張之絕。晉末稱二王之妙。王羲之云。頃尋諸名書。鍾張信爲絕倫。其餘不足觀。可謂鍾張（信爲絕倫其餘不足觀）云沒。而羲獻繼之。又云。吾書比之鍾張。鍾當抗行。或謂過之。張

書譜卷上　呉郡の孫過庭撰す。夫れ古よりの書を善くする者は、漢魏に鍾張の絶有り、晋末に二王の妙を称す。王羲之云く、頃諸の名書を尋ぬるに、鍾張は信に（絶倫）たり。其の余は観るに足らずと。謂う可し、鍾張云に没して、羲献之を継ぐと。又云く、吾が書は之を鍾張に比すれば、鍾には当に抗行すべく、或いは謂えらく、之に過ぎんと。張の

【今月の課題】
「書譜卷上呉郡孫過庭撰
夫自古之善書者漢魏有」
（20字）

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

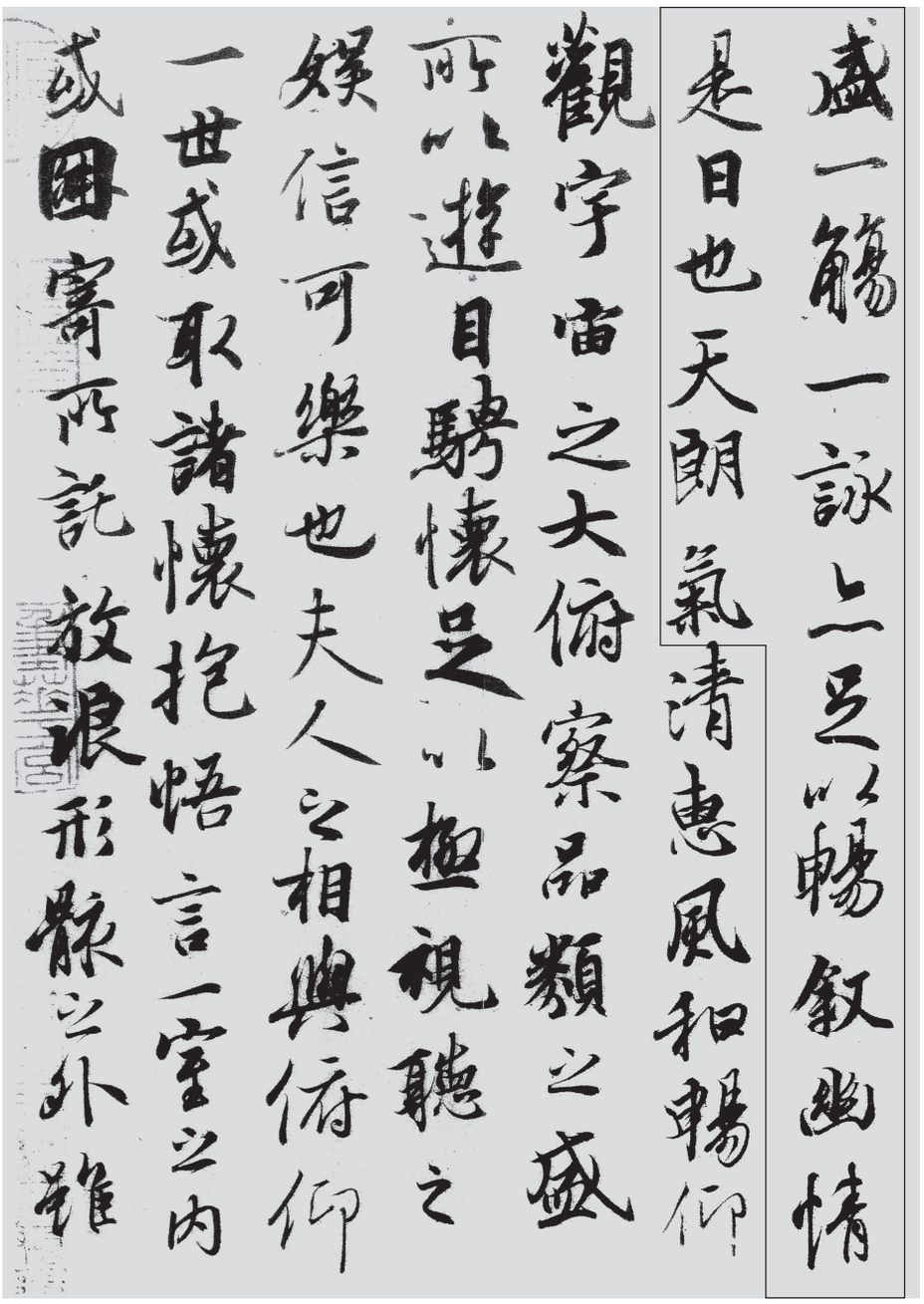
条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

（6月10日締切）

# 条幅規定

B部（四段以下）

『蘭亭叙』（らんていじょ）　王羲之（おうぎし）（東晋）




盛。一觴一詠。亦足以暢叙幽情。是日也。天朗氣清。惠風和暢。仰観宇宙之大。俯察品類之盛。所以遊目騁懐。足以極視聽之娯。信可樂也。夫人之相與俯仰一世。或取諸懐抱。悟言一室之内。或因寄所託。放浪形骸之外。雖盛無しと雖も、一觴一詠、亦た以て幽情を暢叙するに足る。是の日や、天朗らかに気清み、恵風和暢す。仰いでは宇宙の大を観、俯して品類の盛んなるを察す。所以に目を遊ばしめ懐を騁せ、以て視聴の娯しみを極むるに足れり。信に楽しむ可きなり。夫れ人の相い与に一世に俯仰するや、或いは諸を懐抱に取って、一室の内に悟言し、或いは寄せて託する所に因って、形骸の外に放浪す。

【今月の課題】

「盛一觴一詠亦足以暢叙幽情是日也天朗氣」（18字）

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

（6月10日締切）

## 半紙規定 (一)

曹全碑（漢・作者不詳）

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

止右扶風或

右扶風（ゆうふふう）に止（とど）まり、或（ある）いは

## 半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘（唐・欧陽詢）

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隷書
〔一級以下〕楷書

觀漢記曰光

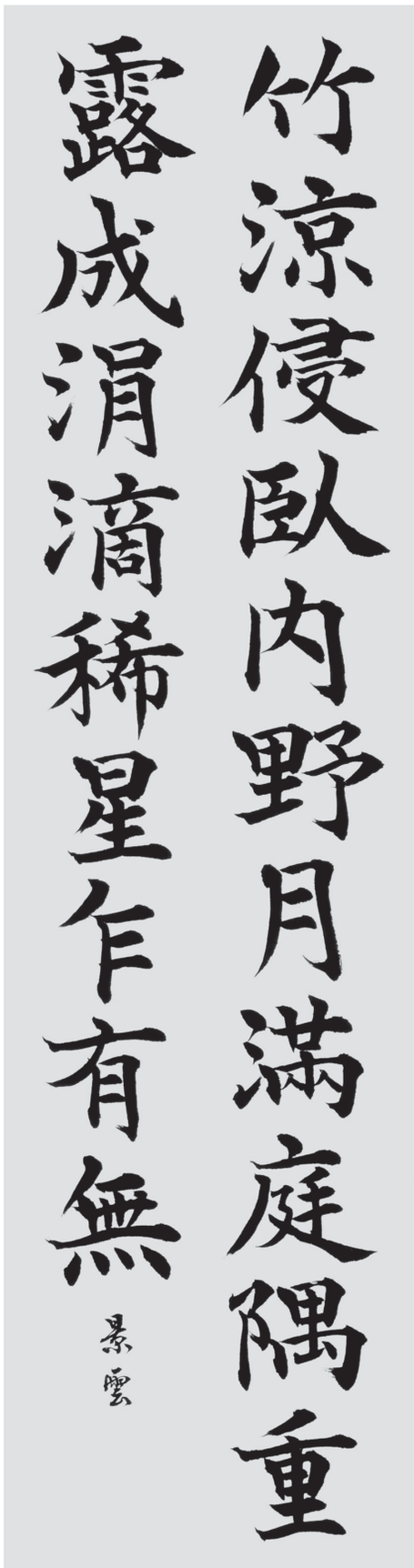
『東観漢記』に曰う、「光武の



〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

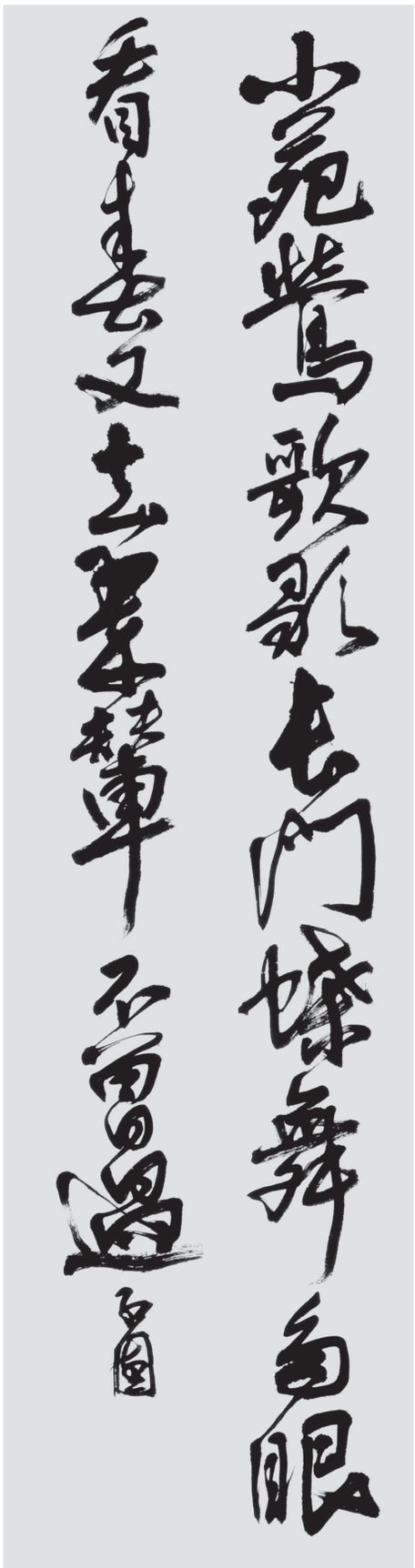
（6月10日締切）

# 条幅参考手本




竹涼侵臥内　野月滿庭隅　重露成涓滴　稀星乍有無
竹涼臥内を侵し　野月庭隅に滿つ　重露涓滴を成し　稀星乍ちに有無

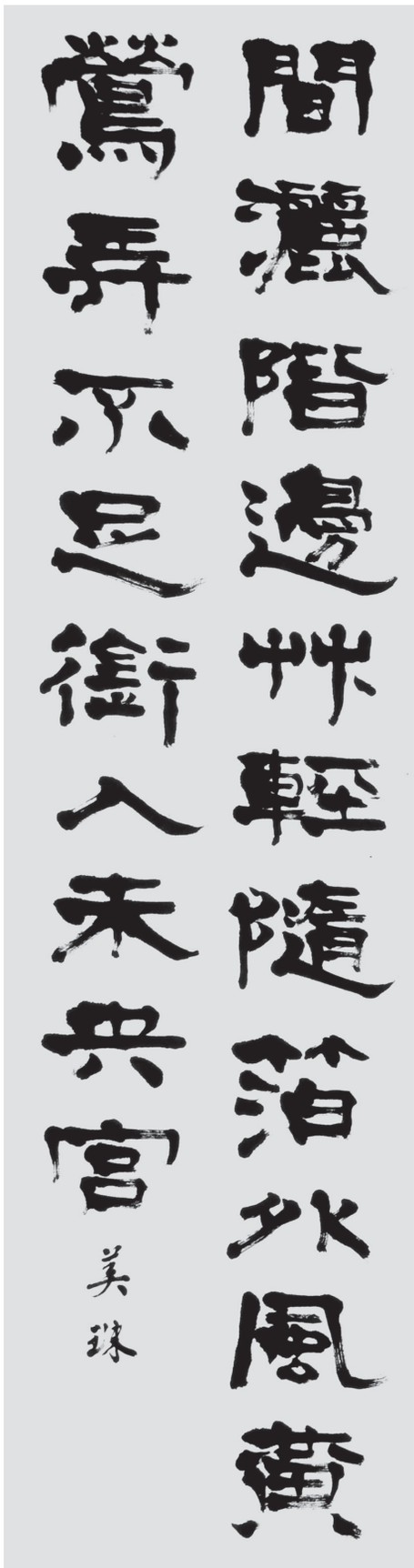
渡辺景雲先生




小苑鶯歌歇　長門蝶舞多　眼看春又去　翠輦不曾過
小苑鶯歌歇み　長門蝶舞多し　眼に看る春又去るを　翠輦曾て過らず

田辺紅園先生

# 条幅参考手本

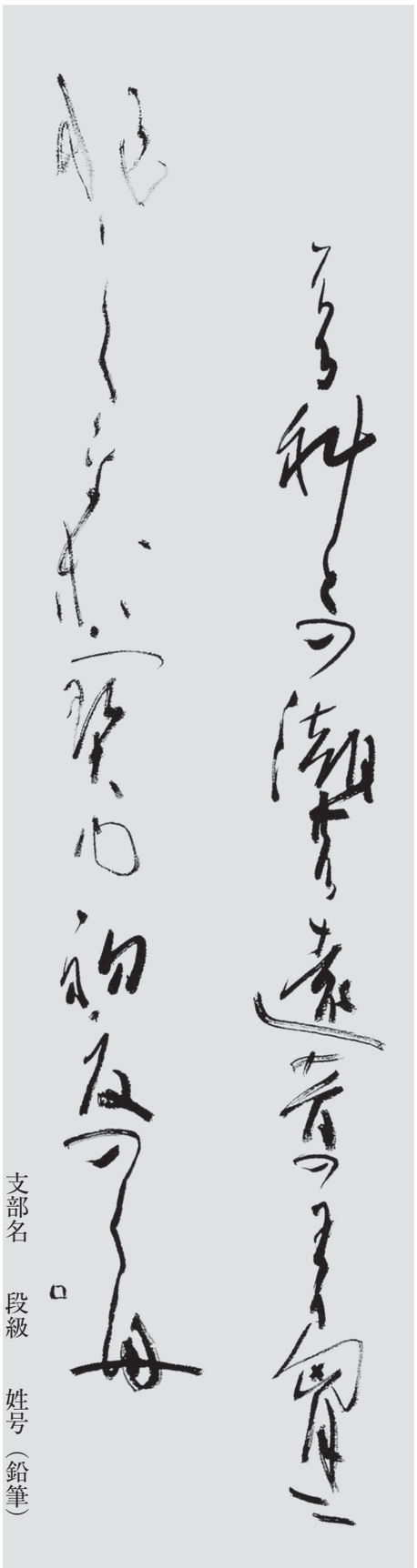


閒灑階邊艸　軽隨箔外風　黄鶯弄不足　銜入未央宮

閒に灑ぐ階辺の草　軽く随ふ箔外の風　黄鶯弄して足らず　銜みて入る未央宮

渡辺美珠先生

# 条幅かな



ふるさとの潮の遠音のわが胸にひびくをおぼゆ初夏の雲（与謝野晶子）

不斜農王可二非乎於賓く母

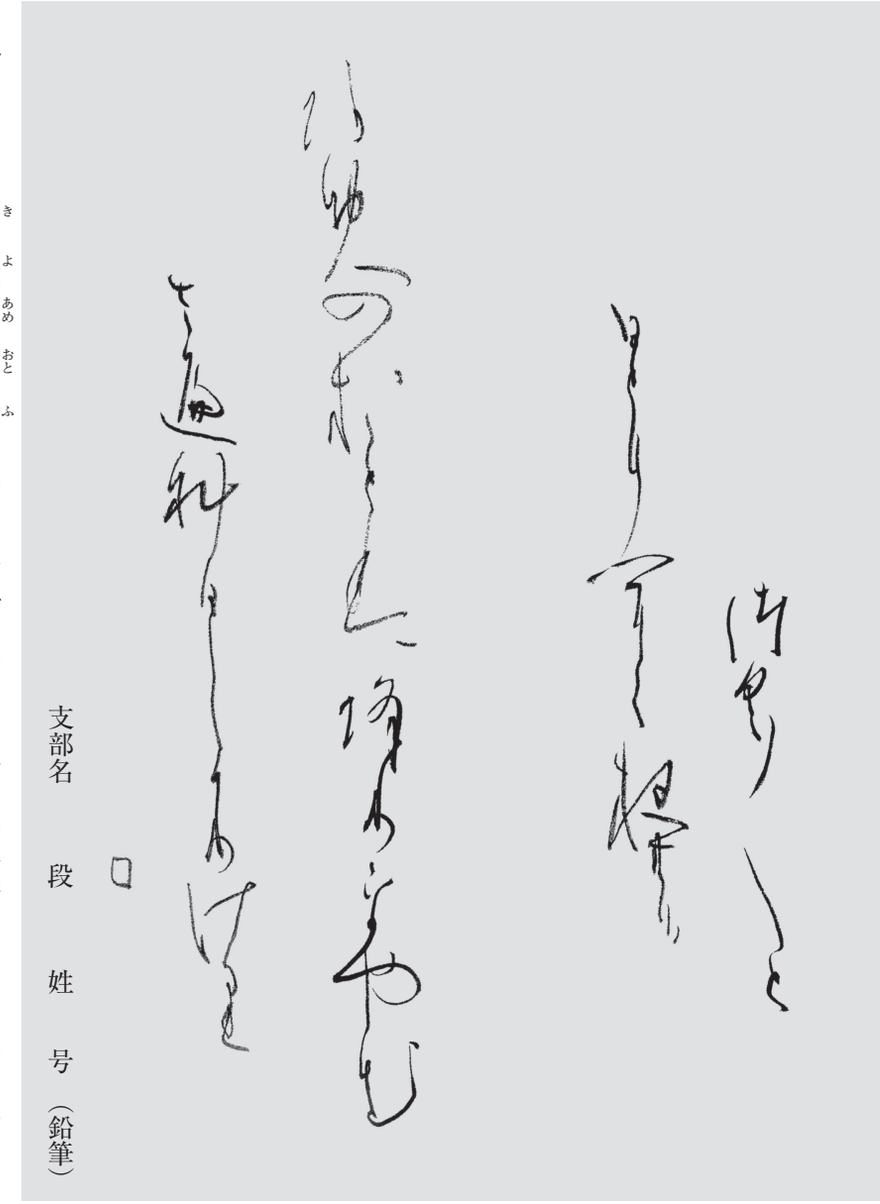
浮乗清郷先生

支部名　段級　姓号（鉛筆）

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

（6月10日締切）

## 半紙かな（初段以上）



浮乗清郷先生

支部名　段　姓　号（鉛筆）

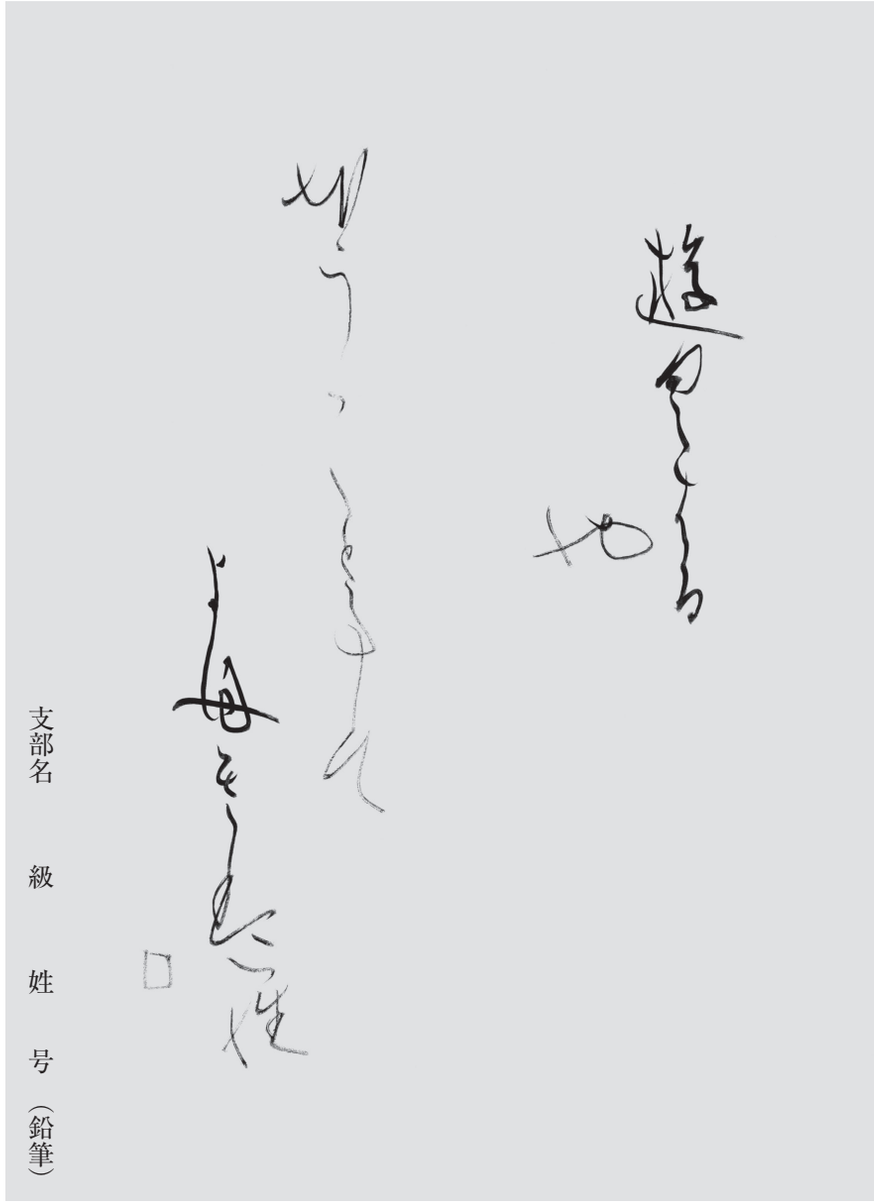
つくづくとひとり聞く夜の雨の音は降りをやむさへさびしかりけり（儀子内親王）※ちらし文字変換は自由

徒具日　農阿兎　於と盤　利乎　遍斜日　可利里

船久保棠苑先生

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

## 半紙かな（１級以下）



行く春やほうほうとして蓬原（正岡子規）※ちらし文字変換は自由

遊具者る本　事　よ母き盤羅

支部名　級　姓　号（鉛筆）

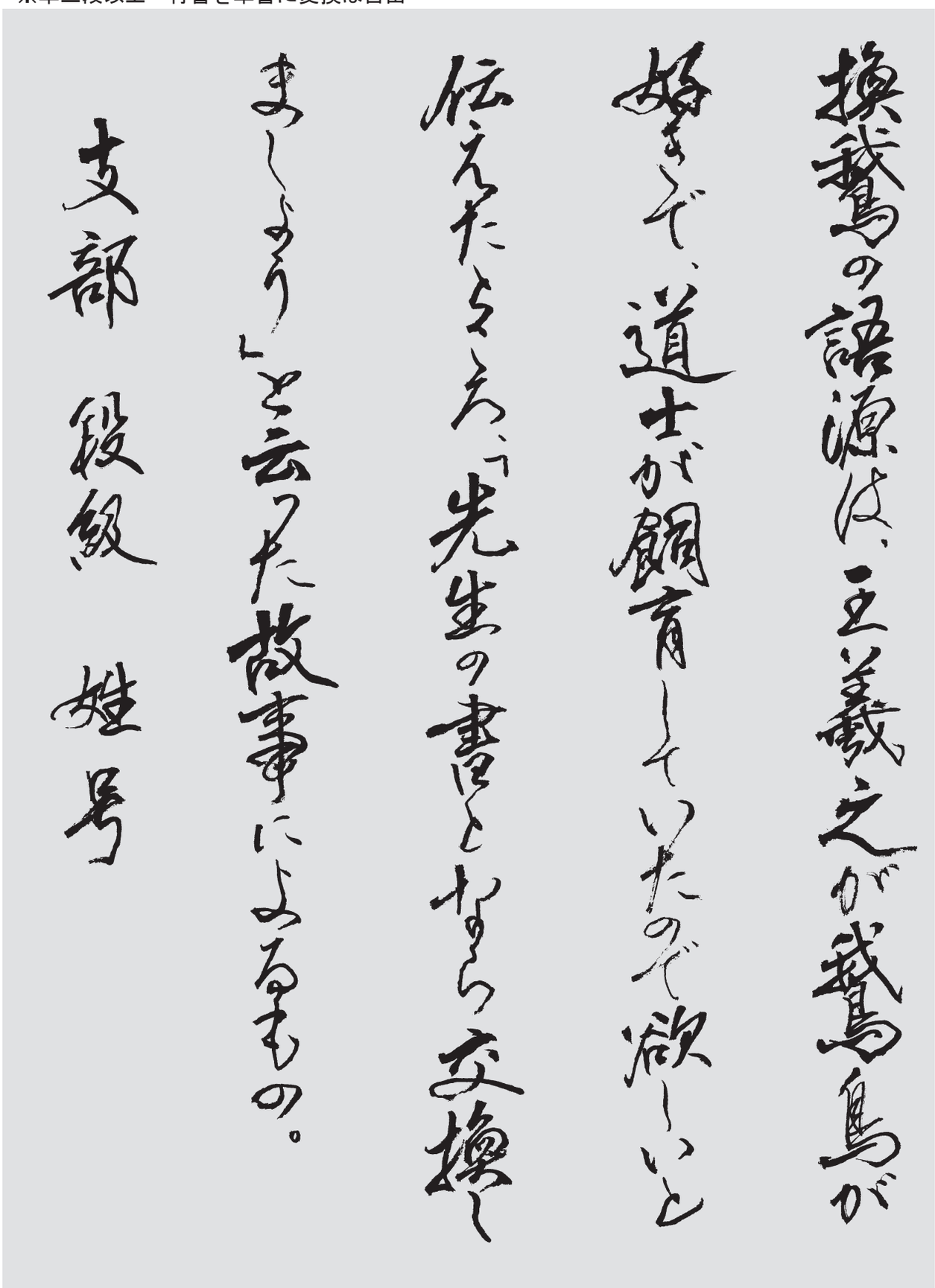
※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（６月 10 日締切）

# 実　用　文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

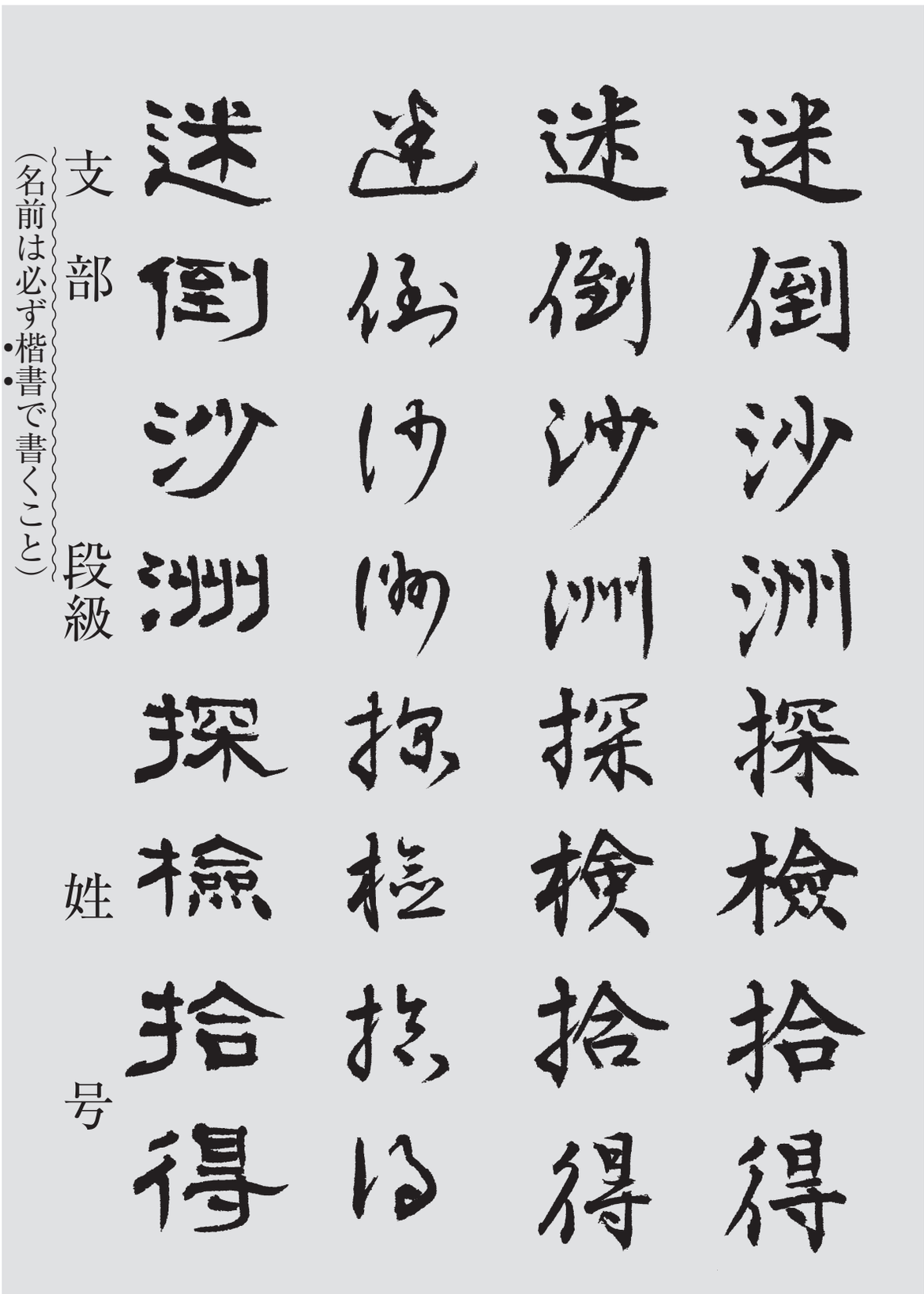



朝平霞山先生

（6月10日締切）

# 細　　字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より　P35




主幹　菅野翠濤

※一級～八級は草書まで。　初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17cm（よこ）×24cm（たて）

沙洲（さしゅう）　沙漠のこと。

（6月10日締切）

## 硬筆（1級以下）

2行、楷書

薫風とは、深緑の間を吹いて、若葉の香りを運んで来る快い風です。

支部名　級　姓　号

渡邊南嶂先生

## 硬筆（初段以上）

3行、行草書

五月、新暦では夏の始めの月。緑さす山々も自然の風物もみな生き生きと爽やかに感じられる。

支部名　級　姓　号

…新暦…夏…山　…感じ…。

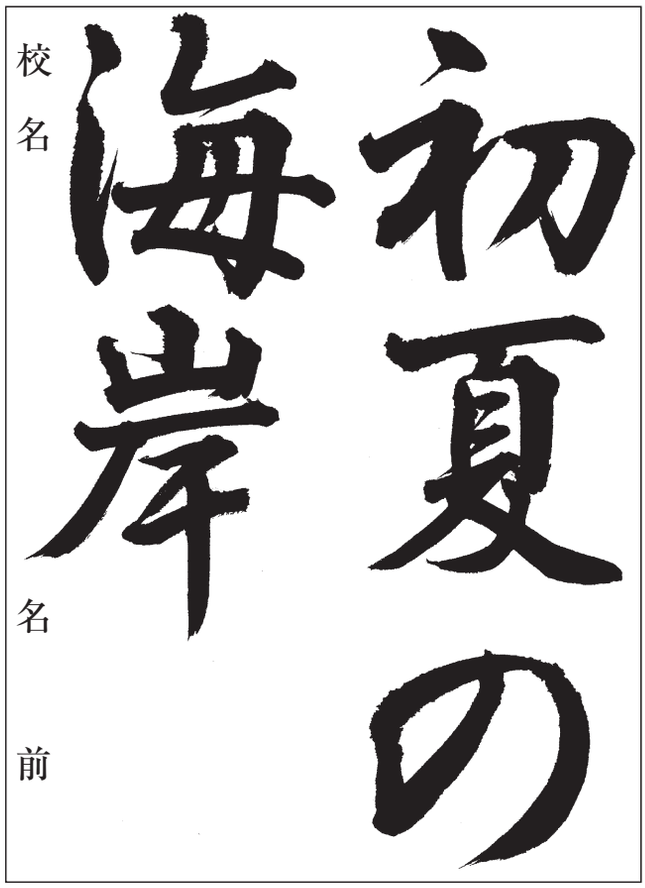
青柳江雲先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

（6月10日締切）

**中２用**

**中３用**




**小６用**

**中１用**

学生書道コンクール課題（**６月 13 日締切**）

小４用

小５用

小２用

小３用

学生書道コンクール課題（**６月 13 日締切**）

**中１**

木もれ日の中、空気を胸いっぱいに深呼吸。

中１～中３　青柳江雲先生

**中２**

行動する前に、深く思考することが大切です。

**中３**

展望台に登ると、美しい海岸線が一望できた。

**小１・幼年用**

校名

名前

鈴木翡恵先生

**小１・幼年**

もりには、とりやどうぶつたちがいます。

小１～小３　田辺翠鶴先生

**小２**

花ばたけでこどもたちが、ちょうをおう。

**小３**

学校の花だんで、ひまわりをそだてている。

**小４**

新緑の林は、さわやかなかおりがします。

小４～小６　齊藤翡流先生

**小５**

庭のバラが今年も美しい花を見せてくれた。

**小６**

美しい文字は、正しい筆順からでき上がる。

学生書道コンクール課題（**６月 13 日締切**）